

科目名称：	旅行地理Ⅱ	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
海外に行ったことがありますか？どこか行ってみたい国はありますか？なぜそこに行ってみたいのでしょうか？この授業では観光業を目指す皆さんにとって、最低限覚えておくべき観光地や観光資源を学びます。また、仕事のためとしてだけでなく、皆さん自身も観光を楽しめるような人になって欲しいと思っています。		
授業の達成目標・到達目標		
テレビ、雑誌で海外の映像や写真を見る機会も多くなり、絶対に旅に出たいと思う若者が少なくなってきました。もっともっと海外の魅力を知ること、旅を提供する人材にとっても、人生を楽しむ人材にとっても海外旅行地理の勉強は不可欠です。また、授業の中では世界遺産検定3級合格を目指します。各回授業を行うエリアを参照し、事前学修として地図やインターネットを駆使してサブノートに記入してきてください。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	50		30	20	100
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
日本の世界遺産について	ほとんどの知識が身についている	ある程度知識が身についている	少しは知識が身についている	知識が全く身につけていない
世界の世界遺産について	ほとんどの知識が身についている	ある程度知識が身についている	少しは知識が身についている	知識が全く身につけていない
世界の人気観光地について	ほとんどの知識が身についている	ある程度知識が身についている	少しは知識が身についている	知識が全く身につけていない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 世界遺産：概論	簡単な地理クイズに対応できるように地図帳をみて来てください。	30分
第2回 世界遺産：世界遺産の基礎知識	「基礎知識」復習シートを作成	30分
第3回 世界遺産：日本の世界遺産；文化遺産	「日本の文化遺産」復習シートを作成	30分
第4回 世界遺産：日本の世界遺産；自然遺産	「日本の自然遺産」復習シートを作成	30分
第5回 世界遺産：海外の世界遺産；古代からの遺産	「古代からの遺産」復習シートを作成	30分
第6回 世界遺産：海外の世界遺産；アジアの遺産	「アジアの遺産」復習シートを作成	30分
第7回 世界遺産：海外の世界遺産；欧州の遺産	「欧州の遺産」復習シートを作成	30分
第8回 世界遺産：海外の世界遺産；アメリカの遺産	「アメリカの遺産」復習シートを作成	30分
第9回 世界遺産：海外の世界遺産；近現代の遺産	宿題「世界遺産模擬試験」1回目	90分
第10回 世界遺産：海外の世界遺産；自然遺産	宿題「世界遺産模擬試験」2回目	90分
第11回 テーマ別地理：世界の有名国立公園・テーマパーク・遊園地・動物園	世界地図に該当施設をプロットする	30分
第12回 テーマ別地理：ハネムーン（グループディスカッションでハネムーン先の検討とプレゼンテーション）	世界地図にハネムーンの人気地域をプロットし、アクティビティを調べる	60分
第13回 テーマ別地理：学生旅行（グループディスカッションで卒業旅行先の検討とプレゼンテーション）	世界地図に学生旅行の人気地域をプロットし、アクティビティを調べる	60分
第14回 テーマ別地理：バックパッカー	世界地図にバックパッカーの人気地域をプロットし、アクティビティを調べる	60分
第15回 まとめ	試験範囲について総復習	90分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
復習シートを30%で評価する。グループディスカッションのアクティビティを20%で評価する

課題に対するフィードバック

提出物に関してコメントをつけて返却。

教科書・参考書

世界遺産検定事務局『はじめて学ぶ世界遺産100』